



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第50巻第
11号)

AUTHOR(S):

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第50巻第11号). 泌尿器科紀要 2004, 50(11): 846-846

ISSUE DATE:

2004-11

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/113476>

RIGHT:

4. 論文の訂正：査読審査の結果，原稿の訂正を求められた場合は，40日以内に，訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて，前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること，なお，Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 採択論文：論文が採択された場合，原稿を3.5インチフロッピーディスク・MO ディスク・CD-R・CD-RW のいずれかに保存し，編集部へ送付する。ディスクには論文受付番号・筆頭著者名・機種名・ソフトウェアとそのバージョンを明記する。Windows の場合は MS-Word・一太郎，また Macintosh の場合は EG-Word・MS-Word とし，特に Macintosh においては MS-DOS テキストファイルに保存して提出すること。
6. 校正：校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
7. 掲載：論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
 - (1) 掲載料は1頁につき和文は5,775円(税込)，英文は6,825円(税込)，超過頁は1頁につき7,350円(税込)，写真の製版代，凸版，トレース代，別冊，送料などは別に実費を申し受ける。
 - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は31,500円(税込)，6頁以上は1頁毎に10,500円(税込)を加算した額を申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果，測定試薬の成績，治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については，掲載料を別途に申し受ける。
8. 別冊：実費負担とし，著者校正時に部数を指定する。

Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, key words (no more than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer · PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details, refer to a recent journal.

編 集 後 記

香港で開催されている第7回アジア泌尿器科学会 (Asian Congress of Urology: ACU) に参加している。今回のオープニングセレモニーでは，第1回 ACU を福岡で主催され，アジア泌尿器科学会 (Urological Association of Asia: UAA) の基盤づくりに尽力された熊澤九州大学名誉教授が5人目の名誉会員に推挙された。UAA の設立には日本が大きな貢献をしており，日本泌尿器科学会元理事長である阿曾先生，吉田先生も名誉会員となっておられる。各国2人の代表を送っていわゆる評議員会を行っているが，英語を流暢に話し地理的にも多くの国との交流が可能なシンガポールが主導的立場をとっているようにみえる。

さて，我々にとって UAA とはどのような意味を持つのだろうか。私は Director of Research という全体的な立場を与えられて評議員会に参加しているが，私もこの役を引き受ける前は，UAA が何を目的としてどのような活動をしているのか理解していなかった。UAA の最も大きな役割はアジア全体の泌尿器科レベル向上と若手泌尿器科医への教育機会の提供であると思われる。特に経済的な問題を抱える東南アジア諸国の指導者達にとって若手泌尿器科医の育成は切実な問題であるようだ。医療レベルが高く経済的にも恵まれた日本にはこれを支援する役割があるように思われる。マレーシアなどは "Asian School of Urology" という教育機構を国と UAA の支援を受けて立ち上げ，アジアの若手泌尿器科医を受け入れている。

UAA は会費会員制では無いために経済的基盤が全く無い。今回の香港の大会は，SIU の直後であったことや会期が各国の様々な会議と重なったこともあって参加者が少なかった。Chairman の Dr. Wong はお金のやりくりで困っていると嘆いていた。高い次元での国際貢献は日本泌尿器科学会に任せるとしても，ACU に参加すること自体が個人レベルで出来るアジアへの貢献であることを改めて認識した。次回の第8回 ACU は2006年の8月末にバリ島で開催される。夏休み期間の開催でもあり，遊びを兼ねても良いので最非多くの日本人泌尿器科医の参加をお願いしたい (学術集会自体のレベルも非常に高いので，もちろん勉強にもなります)。

それにしても香港は騒々しい町である。車や工事の騒音と行き交う人の話し声が醸し出す喧騒がすさまじい。3日も滞在すると早く日本に帰りたいと思うのは田舎者の私だけだろうか。(小川 修)

泌尿器科紀要 第50巻 第11号 2004年11月25日 印刷 2004年11月30日 発行
 発行 小川 修 顧問 吉田 修 発行所 泌尿器科紀要刊行会
 〒606-8392 京都市左京区聖護院山王町18 メタボ岡崎301号 電話 (075) 752-0100
 FAX (075) 752-0190

<http://www.kiyou.jp/>

印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入
